

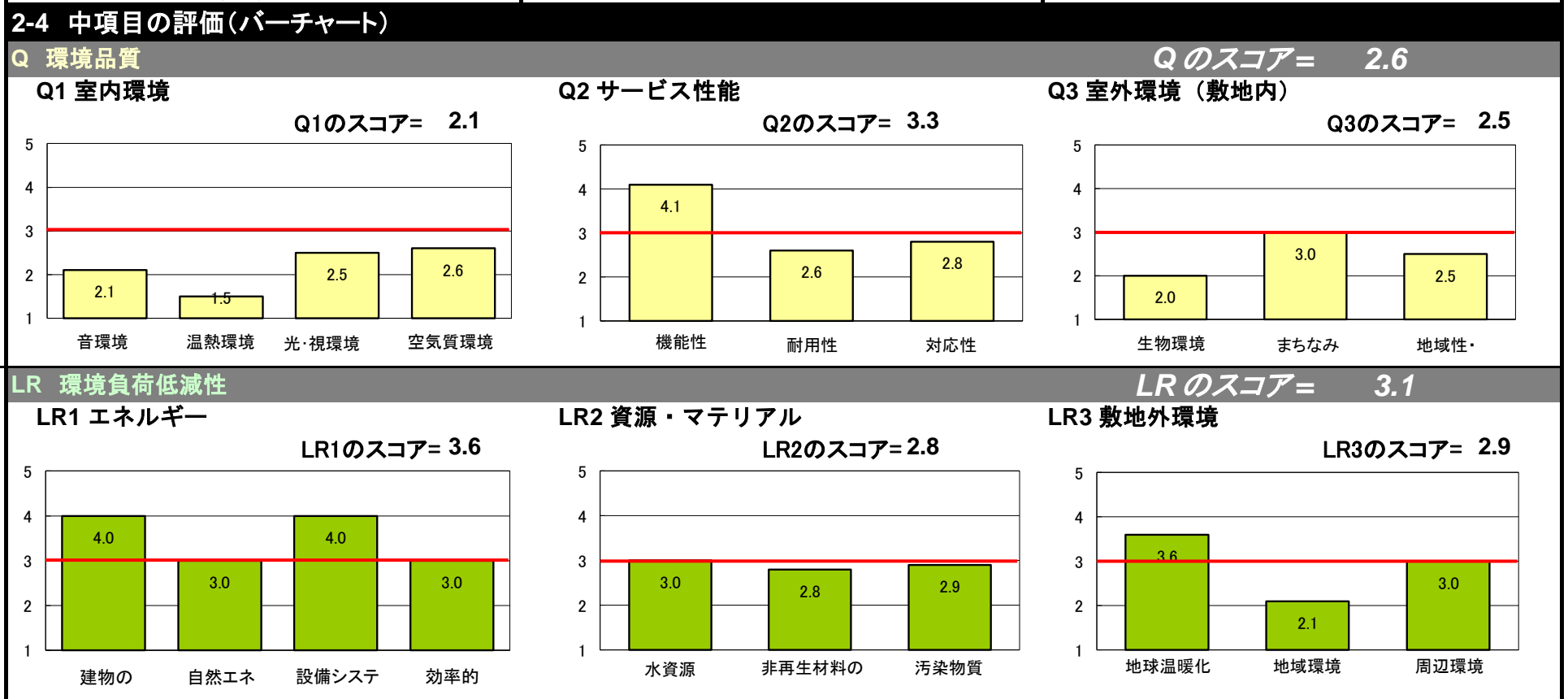
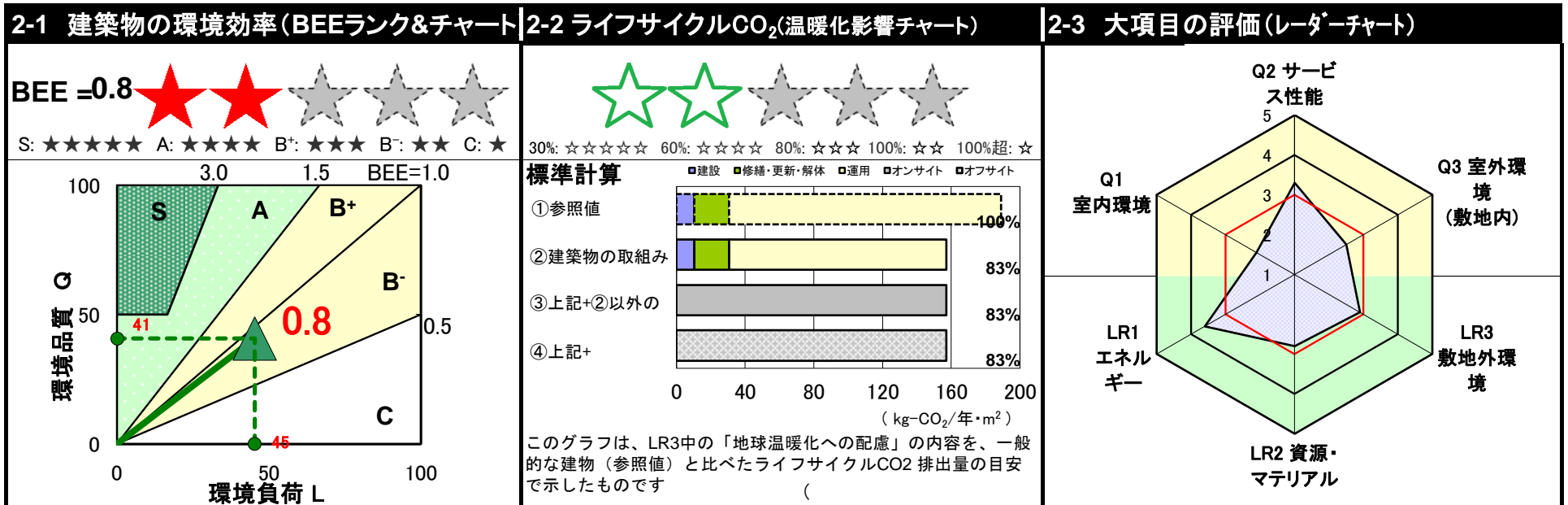
この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの経過措置で使用できます。

CASBEE[®] 広島 (2010年ver. 1.8)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE広島 2013年追加版Ver.2 (BPI/BEI対応) ■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb_2010bpi&bei(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	エフォール吉島	階数	地上4F
建設地	広島市中区吉島新町一丁目844番	構造	S造
用途地域	都市計画区域内	平均居住人員	60人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年11月 予定	評価の実施日	2014年11月7日
敷地面積	1,120 m ²	作成者	村田友弘
建築面積	578 m ²	確認日	2014年11月7日
延床面積	2,172 m ²	確認者	安東洋一



3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.0

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.2	スコア = 2.1	スコア = 2.7
設計の計画上特段に配慮した事項 屋根の高断熱断熱仕様の採用 // 高効率熱源機器の採用 // 再生骨材の路盤材利用・エコマークを取得したタイル・ビニル床材使用 躯体と仕上げ材が容易に分別可能 / 高効率機器の採用によりCO ₂ の削減	設計の計画上特段に配慮した事項 / 自転車置き場、駐車場の確保	設計の計画上特段に配慮した事項 /

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される